



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：10:00

GAME No. 1002F1

主審：緒方 崇
 副審：芳賀 聡

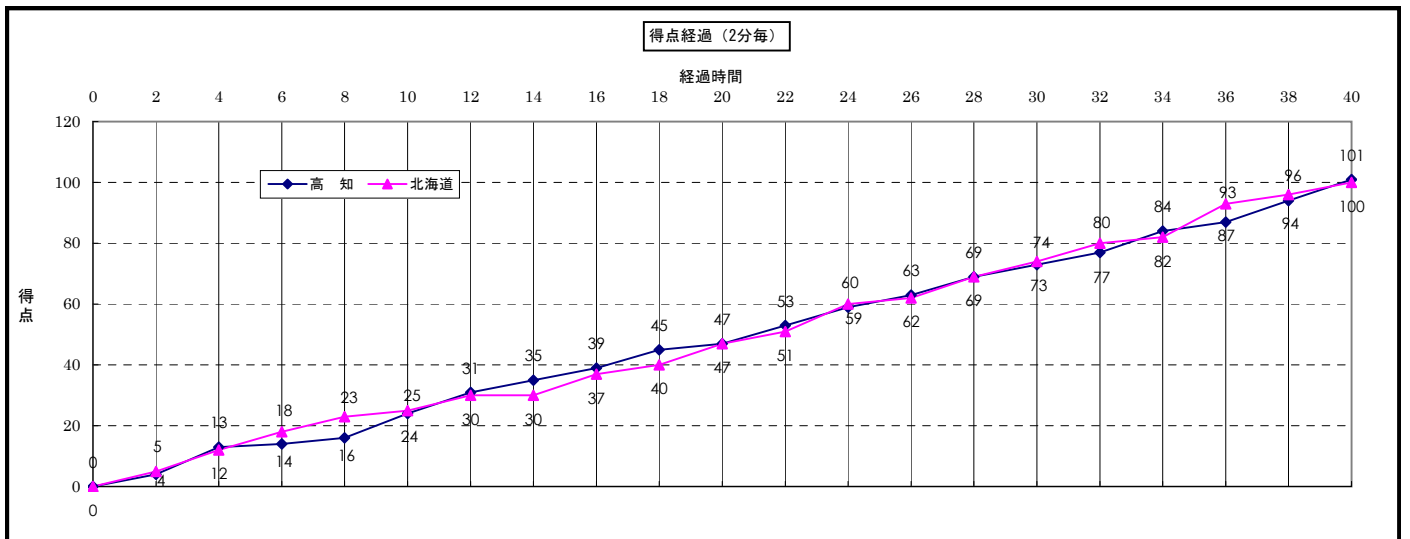
Team A	○	24 -1st- 25 23 -2nd- 22 26 -3rd- 27 28 -4th- 26	●	Team B
高知	101		100	北海道

TEAM A		高知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小松 史明	—	—	—	—	—
5	*	松岡 治宏	16	0	7	2	2
6	*	中野 高紳	11	2	2	1	2
7		長崎 海斗	—	—	—	—	—
8	*	谷内 陽	23	0	11	1	2
9	*	正 健弥	6	0	1	4	3
10		稲山 欽也	—	—	—	—	—
11		吉福 真利	—	—	—	—	—
12		藤谷 善彰	—	—	—	—	—
13		佐竹 尚輝	—	—	—	—	—
14	*	ジョアン・エリザ・シンバ・フィーリョ	33	0	14	5	4
15		小川 凌	12	0	6	0	5
Coach		中島 久和	—	—	—	—	0
TOTAL			101	2	41	13	18

TEAM B		北海道					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐々木 紘平	10	2	2	0	4
5	*	岡音 直樹	3	0	1	1	5
6		松田 啓吾	4	1	0	1	0
7		森江 俊樹	—	—	—	—	—
8	*	西川 貴之	26	0	10	6	3
9		千葉 剛大	12	4	0	0	2
10	*	須田 侑太郎	30	6	6	0	2
11	*	秋月 俊介	13	0	5	3	3
12		大西 寛明	0	0	0	0	0
13		田中 祐輔	2	0	1	0	0
14		山田 麻稀	—	—	—	—	—
15		小澤 淳	—	—	—	—	—
Coach		日下部 二郎	—	—	—	—	0
TOTAL			100	13	25	11	19

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	—	—	25:09	35:59		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	13:53	—	33:35	38:39		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、高知 #5松岡がレイアップに持ち込み先制すると、北海道 #10須田がドライブで応酬する。序盤は一進一退の攻防が続くが、中盤から北海道が主導権を握り、残り2分で7点リードとする。その後、高知は #8谷内らが得点を重ね、最後は #6中野が残り1秒で放った3Pシュートが決まる。1Qは24-25で高知が追いついて終了。

2Q、高知は開始直後に #5松岡のドライブで逆転に成功し、#14ジョアンがゴール下でのシュートやディフェンスリバウンドなど、攻守にわたる活躍を見せて得点を重ね、残り3分でリードを6点とする。しかし、北海道は #10須田の連続3Pシュートなどで着実に点差をつめ、#8西川がフリースローを決めて同点に追いついてこのクォーターを終了する。前半は47-47で折り返す。

3Q、北海道は #10須田の3Pを皮切りに主導権を握ろうとするが、高知は #8谷内がブレイクなどで連続して加点し、両者とも譲らない。中盤、北海道は #6松田の3Pシュートなどで加点するが、高知は #14ジョアンがリバウンドショットなどで得点を積み重ねる。終盤も一進一退の攻防は続き、高知 #6中野がスティールからレイアップシュートを決めて73-74としてこのクォーターを終了する。

4Q、引き続き、一進一退の攻防が続くが、残り5分を切ると、北海道 #9千葉の連続3Pシュートが決まり、87-93となる。ここでタイムアウトを請求した高知は、残り1分、#14ジョアンや #15小川が得点を重ね、96-98と追いつける。その後、高知 #8谷内がブレイクからゴール下に切り込み100-98と逆転に成功する。北海道は、終了直前に #4佐々木が得点して101-100とするが、フリースローを決めることができず、1点差で高知が接戦を勝ち抜いた。

記載責任者 外山 徹宏 (所属) 新潟県バスケットボール協会